

平成 29 年度 農作物（水稲）モニター事業調査結果

本県NOSA Iでは、水稲の生育状況を調査し、気象・病虫害発生状況などの基礎情報を継続的に観測して、県内水稲の作柄や被害発生状況の把握に務めています。

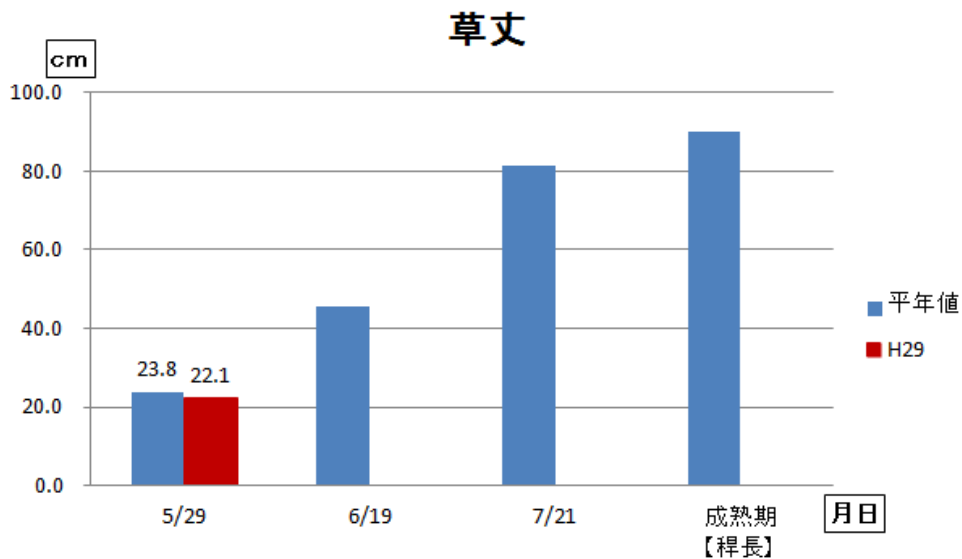
1. 水稲の生育および病虫害発生調査結果（第1回）

1) 水戸市の調査結果

調査場所	品種	移植日	調査日
水戸市	コシヒカリ	5月14日	5月31日

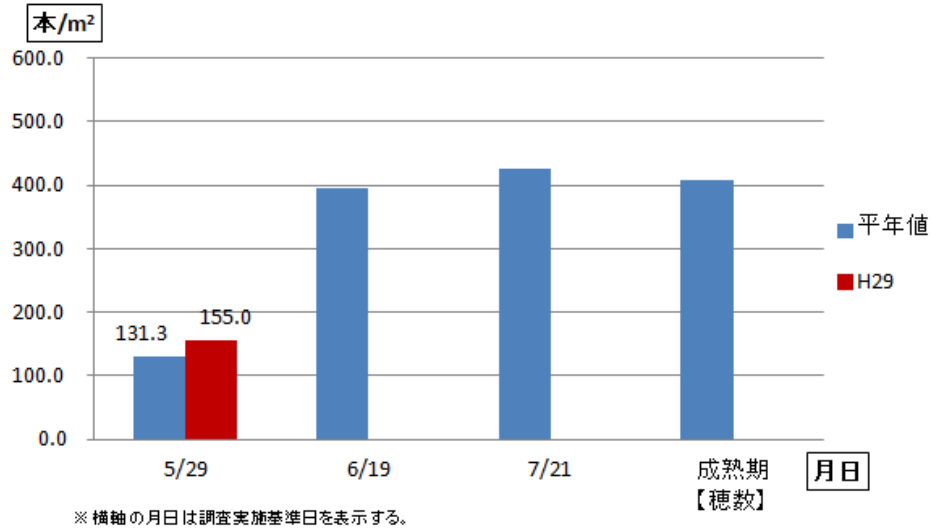


↑ 圃場の様子

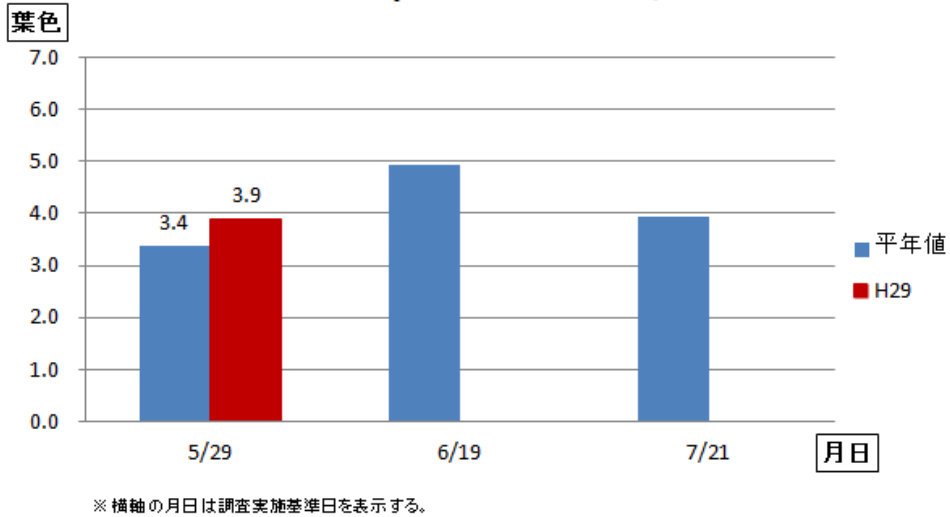


※ 横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

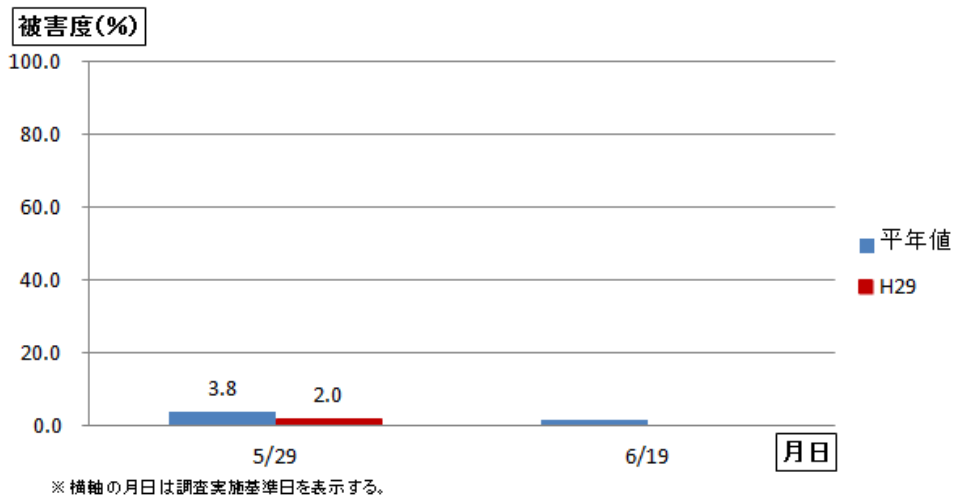
茎数



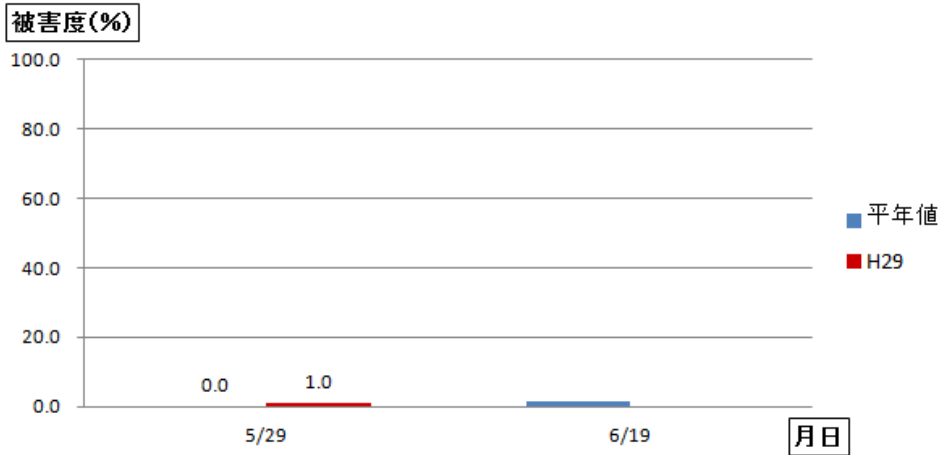
葉色(カラスケール)



イネミズゾウムシ



イネドロオイムシ



※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

- 被害度は該当虫による葉の食害の度合い
- 平年値は平成24～28年の5年間の平均値

○生育調査結果について

平年と比べ草丈はやや低く、茎数はやや多く、葉色は濃くなっています。

過剰分けつ抑制のため、茎数 330 本/m² (畦間 30cm×株間 20cm で 1 株当たり 20 本) の確保を確認したら、速やかに中干しを開始しましょう。気象庁の1ヶ月予報によると、今後気温は平年並～高く、日照は平年並～少ないとされています。過剰分けつにならないように、適期中干しをお願いします。

これからは梅雨期にあたりますので、確実な中干しを実施するためには、用水を止めるだけでなく、水尻(排水口)を低くしたり、暗渠の水甲を開けたりする等、完全に落水させるような工夫が必要です。

○病害虫発生調査結果について

イネドロオイムシによる被害は少ないですが、平年よりも多くなっています。曇雨天が続くと発生が多くなりますので、今後の発生に注意し、食害が特に目立つ場合は防除しましょう。

2) 茨城町の調査結果

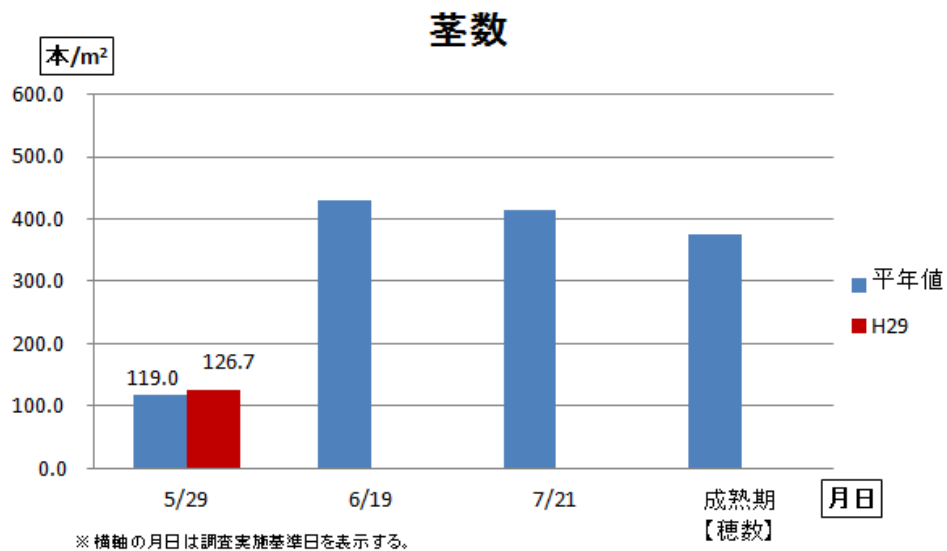
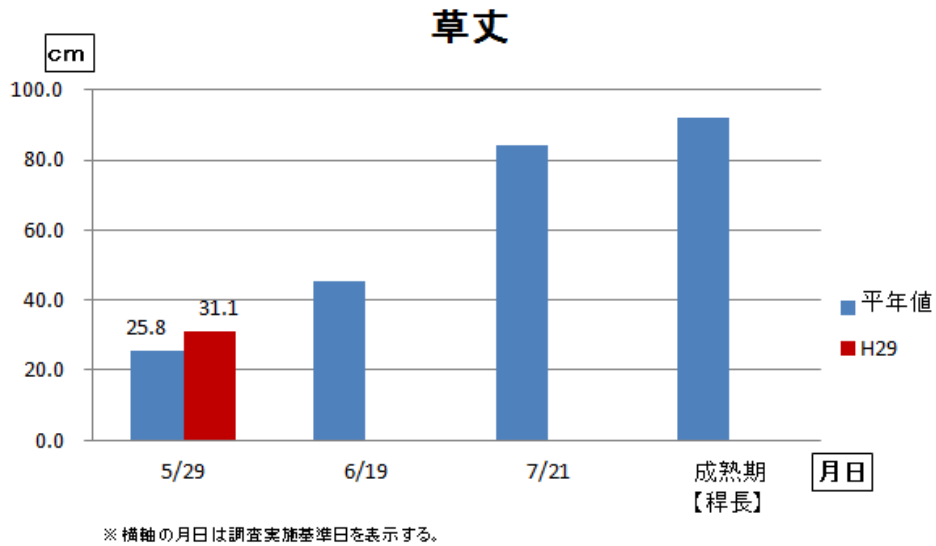
調査場所	品種	移植日	調査日
茨城町	コシヒカリ	5月14日	5月31日



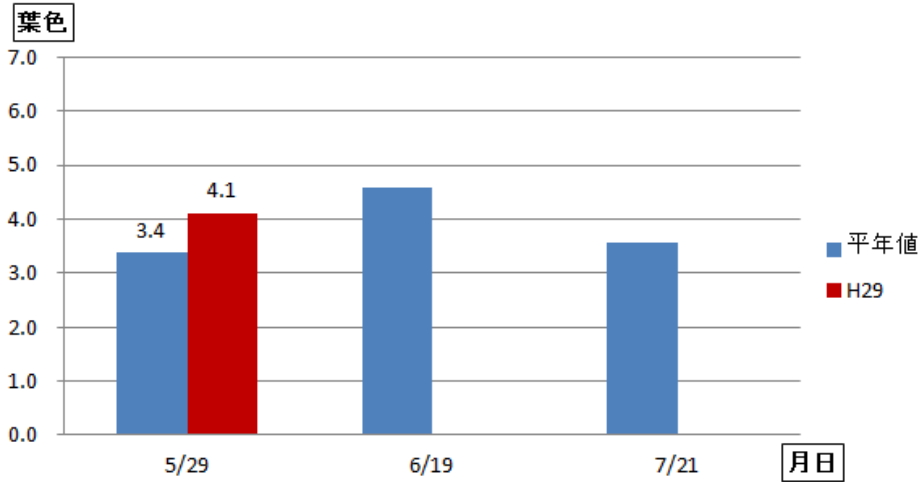
↑ 圃場の様子



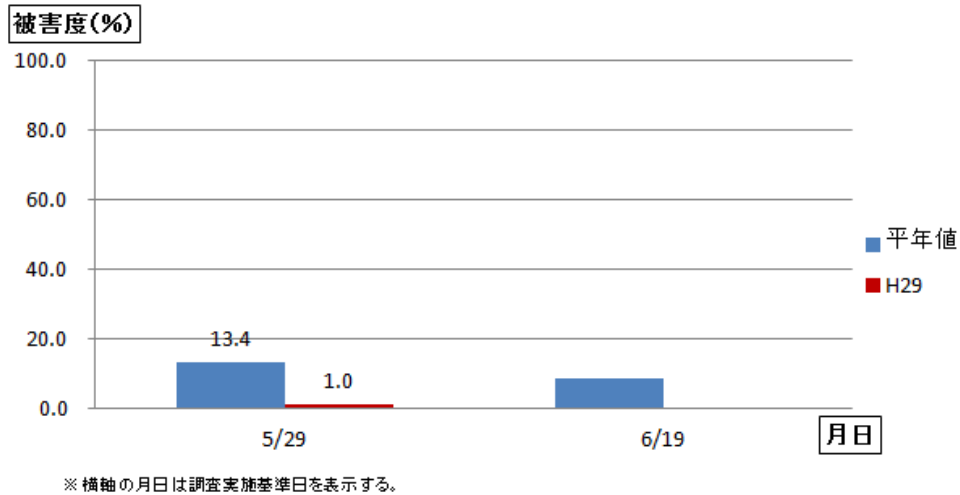
↑ イネミズゾウムシ



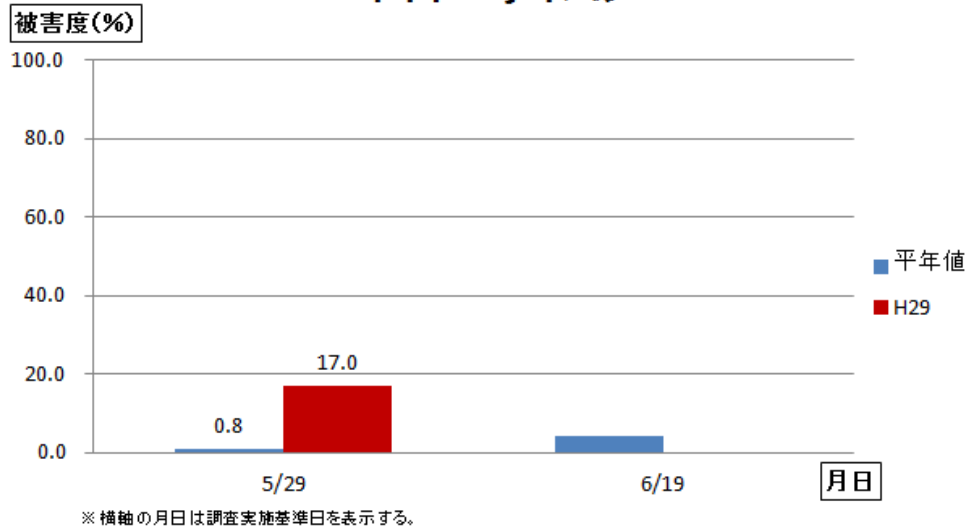
葉色(カラスケール)



イネミズゾウムシ



イネドロオウムシ



- 被害度は該当虫による葉の食害の度合い
- 平年値は平成 24～28 年の 5 年間の平均値

○生育調査結果について

平年と比べ、草丈は極く高く、莖数は平年並、葉色は濃くなっています。草丈が極く高いため今後の生育をよく観察してください。

過剰分けつ抑制のため、莖数 330 本/m²（畦間 30cm×株間 20cm で 1 株当たり 20 本）の確保を確認したら、速やかに中干しを開始しましょう。気象庁の 1 ヶ月予報によると、今後気温は平年並～高く、日照は平年並～少ないとされています。過剰分けつにならないように、適期中干しをお願いします。

これからは梅雨期にあたりますので、確実な中干しを実施するためには、用水を止めるだけでなく、水尻（排水口）を低くしたり、暗渠の水甲を開けたりする等、完全に落水させるような工夫が必要です。

○病害虫発生調査結果について

イネドロオイムシの発生が平年よりも多くなっています、曇雨天が続くと発生が多くなりますので、今後の発生に注意し、食害が特に目立つ場合は防除しましょう。

2. 次回調査予定日

6月19日

茨城県農業共済組合連合会調べ
協力：茨城県農業総合センター